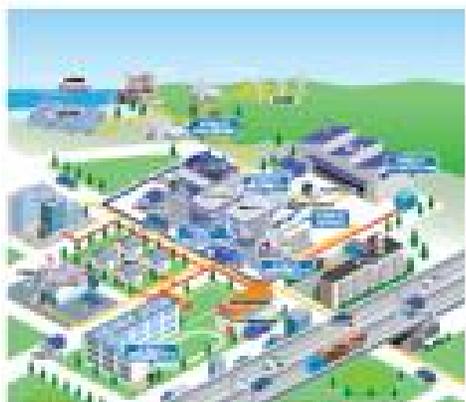


水素を「創る」側と「使う」側の課題に対するKOBELCOらしい価値提供

株式会社神戸製鋼所



神戸製鋼所の機械事業は1914年に国内初の空気圧縮機を開発したことから始まっており、100年以上にわたり様々な分野で培われてきた知恵や技術を保有しています。

それらを掛け算し、顧客や社会の課題を解決することを大切にしています。また、水素によるCO₂削減実現に向けた過渡期における取り組みとして、マルチソースインフラの共存、パラレルインフラを小さく生んで大きく育てることを推進しています。

水素関連の取組・導入実績

〈圧縮機〉

水素の製造のみならず、貯蔵・輸送、供給、利用といった広範囲にわたる水素サプライチェーンにおいて、スクリュ・ターボ・レシプロの各圧縮機を国内外に導入、多くの納入実績を有しています。また、各用途の圧縮機の製作実績で培われた高圧技術、ガスシール技術、さらに低温材料や水素脆化に関する知見も豊富です。

〈気化器・熱交換器〉

国内、海外の水素ステーションに、拡散接合型コンパクト熱交換器（DCHE）を600基以上納入しています。さらに、気化器（ORV、IFV、DCHE）やアルミプレートフィン熱交換器（ALEX）は、LNG以外の様々な用途にも適用可能であり、今後、水素用の気化器、液化器としての導入に取り組んでいきます。



液化水素製造プラント向けスクリュ圧縮機

今後の展開・事業計画

〈圧縮機〉

脱炭素社会の実現に向け水素サプライチェーン（製造、貯蔵・輸送、供給、利用）における様々なニーズに適應する圧縮機技術・製品を提供します。

〈気化器・熱交換器〉

液体水素の経済的な利用のためには、LNGと同様、冷熱の有効利用が求められます。タービン吸気冷却やBOG（ボイルオフガス）再液化、空気分離など様々な冷熱利用分野に当社熱交換器が適用可能であり、さらなる拡販を期待しています。



マイクロチャネル熱交換器（DCHE）

企業プロフィール

所在地 〒651-8585 兵庫県神戸市中央区脇浜海岸通2-2-4

設立年月 1911年6月 資本金 2,509億円

代表者 代表取締役副社長 勝川 四志彦 WEBページ <https://www.kobelco.co.jp/>



担当部署 部署名

〈圧縮機〉
機械事業部門 営業・マーケティング本部 エネルギー・化学機械営業部 回転機室
〈気化器・熱交換器〉
機械事業部門 営業・マーケティング本部 エネルギー・化学機械営業部 機器室

E-mail

〈圧縮機〉rotating-1@kobelco.com
〈気化器・熱交換器〉dche@kobelco.com